

## 1 本校の実態

本校では、価値観や家庭環境が多様化する中で、不登校や学力低下など様々な問題が生じていた。人間関係構築のゆきづまりや社会性の低下を主な原因ととらえ、授業を通じた人間関係形成能力の育成に重点を置き、それに伴う学力向上を目指した授業の研究を推進してきた。その結果、徐々に不登校も減少し、生徒自身が自らの手で学校をより良いものへと創り変えていきたいという意欲も高まってきた。本校では、これらの生徒の「心」を育むことを研究の支柱としてきたが、この「心」を育てることが、すなわち「生きる力」を磨くことだと考え、研究主題を設定した。一方学力向上においては、「全国学力・学習状況調査」や「基礎学力調査」の本校の分析から、基礎的・基本的な知識については概ね理解しているものの、知識等を活用した思考力や判断力や表現力等が充分ではないことが判明した。そこで今年度の研究主題については昨年度に引き続き、『『生きる力』を磨くためには』とし、副題を、～学力向上を目指すために、活用力を高める授業の工夫～、とし、生徒の活用力を高める授業の研究を行うこととした。

## 2 研究主題の設定

「生きる力」を磨くためには ～学力向上を目指すために、活用力を高める授業の工夫～

## 3 主題設定の理由

### (1) 学校教育目標の観点から

本校では「ちょっとした努力ができる生徒の育成」という教育目標の下、人間関係形成能力を育成することを中心とした研究が行われてきた。授業では、仲間を受容できる豊かな「心」を育むことが、自らを律し、自らを表出し、高めようとする心を育み、学習意欲の向上に繋がると考えた。そこで今年度は、「学びのちょっとした努力事項」として、学年毎にステップアップしていくようなスローガンを設定し、学びの方向性を提示した。各学年のスローガンは以下の通りである。

1年生「認め合おう・学び合おう」

2年生「学び合おう・高め合おう」

3年生「高め合おう・磨き合おう」

### (2) めざす生徒像から

本校のめざす生徒像は「心豊かな生徒」、「よく学び深く考える生徒」、「主体的に活動できる生徒」の三点である。「心豊かな生徒」とは、生徒が授業の中で、互いに認め合い、高め合うことで落ち着いて学ぶことが出来る生徒である。「よく学び深く考える生徒」とは、意欲的な授業態度で学びを掘り下げることが出来る生徒である。「主体的に活動できる生徒」とは、自己の個性や能力をしっかりと認識し、長所伸長しながらも、自分自身の足りない部分を補うことが出来る生徒である。今後は、生徒自らが主体的に活動するためにも、授業の中で活用力を高めるよう指導をしながら、学力向上を図っていきたい。

## 4 研究の仮説

各教科において、知識・技能を活用していく学習を行うことが、主体的に生きる上で重要な能力である思考力・判断力・表現力を養うことになり、質の高い「生きる力」の育成に繋がり、生徒の学力が向上すると考えられる。

## 5 取組の概要

### (1) 基礎基本の習得

- ① 各種学力検査による分析
  - ・全国学力テスト及び石川県基礎学力調査の分析及び本校の経年的な弱点の分析
  - ・弱点補強のための指導改善スケジュールの作成
  - ・焦点化された各教科の課題の授業等での指導
  - ・テスト等での通過率の比較より取組の検証
  - ・取組の成果と今後の課題の確認
- ② 各種学習状況調査による分析
  - ・全国学習状況調査及び石川県の学習状況調査の分析及び生徒の現状分析
  - ・学校全体及び各学年での改善項目の対策の立案
  - ・各学年の実態に応じた対策と家庭への協力依頼
  - ・定期的な学習状況調査による生徒の変容の検証
  - ・取組の成果と今後の課題の確認
- ③ 学習規律の徹底
  - ・授業前や授業内規律の徹底
  - ・各種学習状況調査による分析
- ④ 学習環境の醸成
  - ・学校全体及び学年毎の教室掲示案の見直し
  - ・校舎内並びに教室内の環境整備

### (2) 活用力に繋げる工夫

- ① 研究授業や全体研究会の開催
  - ・生徒自身が既習の知識・技能を活用し学んでいるという実感を感じ取れる授業の研究
  - ・指導主事、大学教授による活用力の紹介
- ② 指導案の見直しによる改善
  - ・既習事項とそれを活用する場面を明確にした指導案の作成
  - ・生徒の思考の流れを重視した、見通しを持たせる指導計画の導入
- ③ 学校評価・授業改善アンケートによる改善
  - ・教師・生徒・保護者の三者によるアンケートの実施と比較による分析
  - ・生徒への授業改善アンケートの実施と考察
- ④ 年間指導計画の見直しによる改善
  - ・学力調査の分析結果からの年間計画の見直し

### (3) 活用力を高める授業

- ① 各教科における活用力を高める取組
  - ・思考力を高めるために、既習の学びを生かしながら考えを深める場
  - ・判断力を高めるために、互いに意見を交わしながら自ら判断する場
  - ・表現力を高めるために、相手に自分の考えを伝える場  
と捉え、それらを取り入れた授業作りを進める。
- ② 生徒の手による「学びの集会」の開催
  - ・「学びのちょっとした努力事項」の発表
- ③ 総合的な学習の時間における探究力の育成
  - ・思考力・判断力・表現力を活かした探究力の育成と総合的な学習への展開